

令和6年度 学校評価計画表

奈良育英中学校・高等学校

教育目標		1. 人権尊重の精神を基調として、規律と責任を重んじ、喜びや悲しみを共有できる生徒を育成 2. 自主・自立的な姿勢や態度を研ぎ、高い志を持って個別最適な学びを目指し、全てのことに全力を尽くす生徒を育成 3. 文化・スポーツ活動に積極的に参加し、組織の一員であることを自覚するとともに、自己の可能性を最大限に発揮する実行力のある生徒を育成 4. ESD(持続可能な開発のための教育)を推進するとともに、地域と協働し、「地域と共にある学校づくり」を目指し、社会に貢献できる生徒を育成 5. 英語教育に力を注ぎ、英語検定で合格を勝ち取り、またその結果により、生徒に「自信」を呼び起こす教育を実践				
				学校自己評価(4段階評価) A:達成度が高い B:概ね達成している C:課題を残している D:遅やかな改善が必要である		
部	評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題 (評価結果の分析)	改善方策等
教務部	教育活動を円滑に遂行するためのシステム作り及び教員間の協力体制の強化	教育課程の検証(継続)	・教育課程の修正や改善についての検証			
		評価方法の確立	・観点別評価の明確化(システム化)			
		授業改善(探究的な学びの推進)	・主体的・対話的な学びによるコミュニケーション能力の育成 ・ICTを活用することによる効果の検証(学力の定着・向上) ・ICT活用の研修会の実施(対教員)			
生徒指導部	生徒が学校を愛することができ、他者からも愛される学校を実現する生徒指導体制の構築	生徒が安全で安心な学校生活を送ることができ環境作り	・いじめの防止と発覚時の適切かつ迅速な対応 ・防災・防犯・交通安全等の「命の教育」の充実 ・校内美化の意識の向上と通常清掃の徹底			
		他者から信頼される生徒の育成	・基本的な生活習慣の確立とモラル・規範意識の向上を図る指導 ・他人の気持ちを思いやり、隣人と助け合う心の養成			
		不公平感を生まない生徒指導	・教員全員が同じ基準で指導ができる現行の校則・規定等の明確化 ・教員間の情報共有と連携 ・時代に合った校則・規定等の検討と改定			
進路指導部	生徒の「希望する」進路の実現に向けた、学校・保護者・生徒一体となる指導	生徒の「希望する」進路の実現に向けた、学校・保護者・生徒一体となる指導	・新課程入試の情報、分析、迅速な共有 ・模擬試験の分析、授業内容や朝学習等の精査 ・連携大学との行事や各体験行事における学びたい学習の幅の拡充			
		広報(情報発信)の充実	・保護者進路ガイダンス(対面やオンライン)を通しての本校進路方針や本校および全国における入試動向の分析、共有 ・生徒への迅速な情報提供および各種説明会の充実 ・端末を活用した情報の取得			
		管理体制の強化	・各コースとの連携、行事の策定			
教育推進部	「命の教育」と「愛校心教育」を意識した計画や運営	保健安全の強化	・保健指導の充実、保健室との連携、情報共有 ・安心安全の体育行事の企画・運営 ・生徒の自主的な部活動指導			
		式典・刊行物等の強化	・充実した式典の企画・運営 ・刊行物作成における校正方法の充実			
		国際交流・文化の充実	・国際交流事業の精査と検討 ・文化活動の充実			
入試広報部	奈良育英ブランドイメージの向上と安定した入学生生の確保	奈良育英ブランドイメージの向上	・本校の特色ある教育活動や生徒の活躍を積極的に発信 ・本校関係者(特に在校生とその保護者)の満足度向上 ・各種入試広報行事の充実			
		定員充足	・(高校入試)各コースにおける定員の充足			
			・(中学入試)定員充足			
		広報活動の促進	・非対面広報活動の充実 ・生徒主体で学校の魅力を発信できる体制作りの推進			